

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人『欧州におけるSMRとサプライチェーン強靱化調査団』
派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

国際エネルギー機関（IEA）は昨年の年次報告書で、「世界的なエネルギー危機は、よりクリーンで、より確実な未来に向けた歴史的なターニングポイントになり得る」と強調し、原子力についても「既存炉の運転期間延長の決定と新規建設プログラムの成功が鍵を握る」として「2050年までに原子力発電設備容量が2倍以上に増加する」と予想しています。

こうした中、米国、欧州を中心に小型モジュール炉（SMR）の研究開発が進んでいますが、現行の炉型とは異なるため、許認可に係る問題も多く、また新たなサプライチェーンの構築が必要になるなどの課題も挙げられます。

米国では、小型モジュール炉（SMR）など先進炉開発を加速するための「アドバンス法」が2024年7月に成立しました。米原子力規制委員会（NRC）に対して許認可手続きの簡素化や申請料引き下げ、審査要員の充実を求めるほか、最初に開発に着手する事業者に賞を与えるなど先進炉開発へのインセンティブを設け、許認可の審査については予測可能性を示し、事業者の投資回収の予見性を高める様です。

このようなSMRを取り巻く現状を調査するため、日本技術者連盟では2023年3月、米国・カナダに調査団を派遣し、大きな成果を挙げて帰国しました。今回は、欧州におけるSMRとサプライチェーンの状況について、調査を行います。

ご参加頂ける場合は、以下を一般社団法人日本技術者連盟宛 E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) にてお送り下さい。尚、お申し込み締切は **2024年12月25日(水)まで**と致します。

1. 参加申込書（本案内最終ページ。エクセルデータで提出されたい方はお申し出ください）
2. 参加者の名刺（和文・英文共）
3. パスポートの顔写真部分のページのカラーコピー
（まだパスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください。パスポートは帰国日より90日以上の残存有効期間のあるもの）
4. メンバースト作成用顔写真のデータ（顔がはっきりとわかるもの。パスポート取得時の写真でも可。）

皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

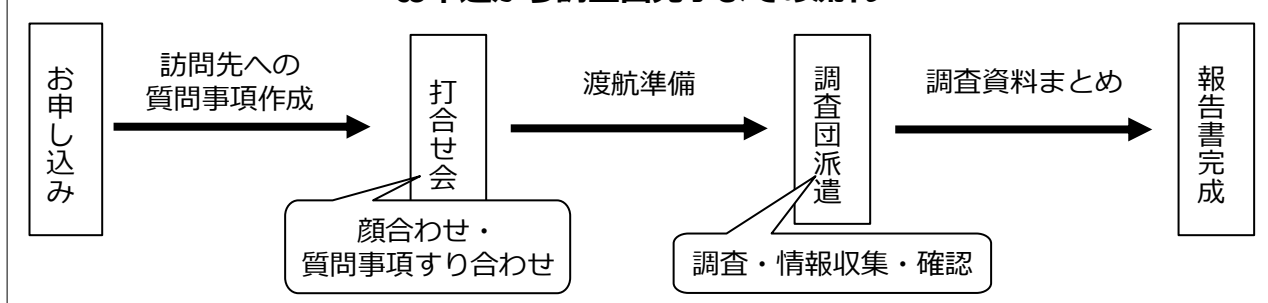
※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

【海外調査団/視察団へ参加する意義とは】

海外へ行って、見てみる、感じてみる、（Go and See）自社の世界のみならず他業界を含めて現場に行って体験したり、組織の中でどのような活動をしているのか、どのような切り口で付加価値を伴っているかを聴いてみるのは大変有効である。自分が理解していないことを理解するためにも必要な行動であり、また、参加団員相互の友好関係を通じて海外人脈の構築は二つ目の付加価値である。

一般社団法人日本技術者連盟
海外調査団/視察団推進センター

お申込から調査団完了までの流れ



一般社団法人日本技術者連盟



〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: http://www.jef-site.or.jp

URL: http://www.wkx21c.org

『欧州におけるSMRとサプライチェーン強靱化調査団』

参加要項 (案)

1. **テーマ:** 『欧州におけるSMRとサプライチェーン強靱化調査団』
2. **期間:** 2025年2月16日(日)～2月23日(日)8日間(予定)
3. **主催:** 一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF)
4. **団長:** 高木 直行 氏 東京都市大学 総合理工学研究科 共同原子力専攻 理工学部 原子力安全工学科 教授 博士(工学)

■ 略歴 ■

1992年 東京電力入社 柏崎刈羽原子力発電所 発電課 原子力研究所 新型炉研究室
1999年 日本原子力発電 高速炉開発部 安全・炉心G (出向)
1999年 核燃料サイクル開発機構 (大洗) 炉心燃料Gr (出向)
2004年 東京工業大学 原子炉工学研究所 特任准教授 (兼務)
2004年 核物質管理センター 開発部 (出向)
2006年 東京電力 本店 原子力技術品質安全部 将来構想Gr
2007年 東京電力 本店 原子力設備管理部 原子炉安全技術Gr
2008年 東海大学 工学部 エネルギー工学科 准教授
2010年 東海大学 工学部 原子力工学科 教授
2012年 東京都市大学 総合理工学研究科 共同原子力専攻 理工学部 原子力安全工学科 教授



5. 調査項目: (案)

- 欧州におけるSMRの設計・建設計画やサプライチェーンの状況
- 安全性向上や立地・運転・利用に関する社会ニーズに応じた取組み状況
- 規制に対する国際的標準化の状況
- その他

6. 予定訪問先及び概要:

※下記より5～6か所訪問予定。訪問先は都合により変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

① テメリン原子力発電所 (Temelin Nuclear Power Plant)

(テメリン・チェコ)

チェコ共和国では、小型モジュール炉 (SMR) の計画が進行中で、2030年代の前半には建設を始める予定。チェコ共和国産業貿易大臣のヨゼフ・シケラは、「小中型の原子炉は、電力と熱の生成において、チェコの電力システムに大きく貢献する」と述べた。また政府は、チェコにおけるSMRの可能性の枠組みを定め、候補地、可能な投資家モデル、法改正を提案する作業部会の「チェコSMRロードマップ-経済への適用性と貢献」文書を承認した。候補地には、既存のテメリンとドコバニの両原子力発電所を含め、合計45カ所が挙げられている。バトル・トシエシュニャク産業副大臣は、「これらの原子炉は、その大きさと出力から、段階的に廃止されつつある石炭火力発電所の適切な代替品となり得る。従来の原子炉建設を主眼とした現在の原子力発電所のほかに、SMRは他の場所にも配置できる」と述べた。

② チェコ 原子力研究センター (UJV Rez)

(フシネック・チェコ)

チェコの国立原子力研究機関。SMR技術の研究開発において中心的な役割を担っている。2022年、チェコの国営電力、南ボヘミア州の州政府と共に、共同プロジェクトとして、同国初の小型モジュール炉 (SMR) 建設計画を加速する「南ボヘミア原子力パーク」を始動すると発表した。UJV Rezが現在進めているモジュール式先進的ガス冷却高速炉「HeFASTo」や、溶融塩で冷却する小型のモジュール式高温原子炉「Energy Well」の概念研究は、先進的レベルと言われている。

③ KGHMポルスカ・ミエツ社

(ワルシャワ・ポーランド)

ポーランド政府の支援を受け、国内初の原子力発電所建設を進めている。2022年、米国のニュースケール・パワーと小型モジュール式原子炉 (SMR) の契約を締結したと発表。この契約は、2021年に表明されたSMR技術に関する協力の覚書に続くもので、最大12基の小型モジュール式原子炉 (設置容量約1ギガワット) の開発と建設が可能になる。これはSMR投資で、世界的にも最大とされる。最初の発電所は2029年までに稼働する予定で、これによりポーランドは年間最大800万トンの二酸化炭素 (CO₂) 排出量を削減できるとされている。

④オーレン・シントス・グリーン・エナジー（OSGE）社

（ワルシャワ・ポーランド）

ポーランド最大の化学素材メーカー、シントス社のグループ企業であるシントス・グリーン・エナジー（SGE）社、および同国最大手の石油精製企業であるPKNオーレン社が、ポーランドでマイクロ原子炉や小型モジュール炉（SMR）の建設と商業化を進めるため設立した合弁事業体。SMRの中でも特に、GE日立・ニュークリアエナジー（GEH）社が開発した「BWRX-300」の建設に重点的に取り組む。2030年の初号機完成を目指して、正式な活動の開始に備える方針。このプロジェクトを通じて、オーレン・グループは2050年までに自社のCO2排出量の実質ゼロ化を達成出来るよう、製品生産の脱炭素化を加速。それに伴い、地元のサプライチェーンを活用することで、ポーランドの経済成長とエネルギー供給保証につなげたいとしている。

⑤ロールス・ロイスSMR社（Rolls-Royce SMR Ltd）

（ダービー・イギリス）

英国政府の支援を受け、独自のSMR技術を開発。世界的なサプライチェーンを構築し、国際市場に向けたSMRの展開を目指している。2022年、イングランド北西部カンブリア州の新興デベロッパー「ソルウェイ・コミュニティ電力会社（Solway Community Power Company）」が同社製SMRを選定したと発表した。また2023年、フィンランドとスウェーデンで同社製小型モジュール炉の建設機会を共同で模索していくため、フィンランドの国有エネルギー企業フォータム社と協力覚書を締結した。ロシアと戦争中のウクライナでも住宅や電力設備を再建する動きがあることから、将来的な戦後の復興支援として、同国でSMRを建設することを念頭に、ウクライナの民生用原子力発電公社であるエネルゴアトム社とも協力覚書を交わしている。またオランダのULC-Energyは、デンマークのTopsoe社及びRolls-Royce SMR社と協力し、Rolls-Royce SMR原子力発電所で生産された電力と熱を使用し、Topsoe社の固体酸化物電解セル（SOEC）技術を用いて、水素製造を共同で調査する契約に署名した。

⑥英国・エネルギー安全保障・ネットゼロ省（DESNZ）

（ロンドン・イギリス）

長期的なエネルギー供給を確保し、料金を下げ、実質ゼロを実現するため、2023年新設された英国政府の機関。エネルギー安全保障を確保するコミットメントの共有とグリーンエネルギー移行を加速するための、再生可能エネルギーに関する連携強化に向けた、日本と英国における再生可能エネルギーパートナーシップに関する共同声明を発出。

7. 募集人員：15名

8. 参加費：¥ 1,900,000 - （予定・税別 お申込金50万円を含む）

9. ホテル：一人部屋

10. 通訳・プロジェクトマネージャー：現地同行（参加5名以上の場合）

11. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構
東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

12. 運営実施：観光庁長官登録旅行業者

13. 申込方法：参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー、名刺のコピー（和文・英文共）、参加申込書、顔写真データを **2024年12月25日（水）までに**、E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）でお送り下さい。すぐに担当者よりご連絡申し上げます。

※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが、日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※打合せ会の日程につきましては、改めてご案内申し上げます。

14. 代金支払：総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。期日までにお振込みくださいますよう、お願い申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂1302号
TEL：03-6229-1946 FAX：03-6229-1940
E-mail：gyomu1@jef-site.or.jp
URL：http://www.jef-site.or.jp
URL：http://www.wkx21c.org

『欧州におけるSMRとサプライチェーン強靱化調査団』
日程表 案

2025年2月16日（日）～2月23日（日） 8日間

| 日次 | 月・日・曜 | 都市名 | 交通機関 | 現地時間 | スケジュール | 食事 |
|----|-------------|------------------------|------|------|---|-------------------|
| 1 | 2/16 (日) | 羽田発 ミュンヘン経由 プラハ着 | Air | | 羽田空港 発 ミュンヘン空港 着 ミュンヘン空港 発 ヴァーツラフ・ハヴェル・プラハ国際空港 着 プラハ泊 | 機内食 |
| 2 | 2/17 (月) | プラハ着 | | | テメリン原子力発電所 訪問 プラハ泊 | 朝 ○ 昼 ○ 夕 ○ |
| 3 | 2/18 (火) | プラハ発 ワルシャワへ | Air | | チェコ 原子力研究センター（UJV Rez）訪問 ヴァーツラフ・ハヴェル・プラハ国際空港 発 ワルシャワ・フレデリック・ショパン空港 着 ワルシャワ泊 | 朝 ○ 昼 ○ 夕 ○ |
| 4 | 2/19 (水) | ワルシャワ | | | KGHMポルスカ・ミエツ社 及び オーレン・シントス・グリーン・エナジー（OSGE）社 訪問 ワルシャワ泊 | 朝 ○ 昼 ○ 夕 ○ |
| 5 | 2/20 (木) | ワルシャワ発 ロンドンへ | Air | | ワルシャワ・フレデリック・ショパン空港 発 ロンドンヒースロー空港 着 英国・エネルギー安全保障・ネットゼロ省（DESNZ）訪問 ロンドン泊 | 朝 ○ 昼 ○ 夕 ○ |
| 6 | 2/21 (金) | ロンドンから ダービー往復 | 列車 | | ロールスロイスSMR社 訪問 ロンドン泊 | 朝 ○ 昼 ○ 夕 ○ |
| 7 | 2/22 (土) | ロンドン発 | Air | | ロンドンヒースロー空港 発 | 朝 ○ 昼 × |
| 8 | 2/23 (日) | 羽田着 | | | 日本（東京） 発 | 機内食 |

* 上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への専用車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 施設等見学費
- 団長、通訳、添乗員 同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費（リスク管理費を含む）
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、査証取得手続きに関する費用、渡航手続取扱料等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：**お申込金 50万円**及び航空券・宿泊料金などのキャンセル料の実費（旅行社等支払分）
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：参加費の50%、及び企画手配料10万円
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

その他

- ◆ 参加費は、2024年10月末日時点の運賃及び8名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用が変更になる可能性もございますので、予めご了承下さい。

参加における注意事項

I) 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- a. 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- b. 飛行機が遅延した際の費用保障
- c. 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先

II) パスポートとビザについて

訪問国がシェンゲン協定加盟国の場合、加盟国に入国する際に必要なパスポートの条件は以下となります。

- a. パスポートの残存期間が出国予定日から3カ月以上
- b. 未使用査証欄が2ページ以上

またシェンゲン協定では「直近180日間における滞在期間が、最長90日までの場合、入国時ビザは必要ない」とされています。

訪問国が米国の場合、滞在期間に加えて6か月以上のパスポート残存有効期間が求められます。またビザあるいはビザ免除プログラムへの登録が必要となります。

その他の国の事情や詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。

また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

| | | |
|----|---|---|
| 会長 | 村上 雅人 | 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士 |
| 顧問 | 野々内 隆 斎藤 信男 | 元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長 慶應義塾大学 名誉教授 工学博士 |
| 理事 | 松井 一秋 井戸田 勲 梶原 豊 浮舟 邦彦 内藤 香 林道 寛 | 一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問 一般社団法人日本技術者連盟 専務理事 高千穂大学 名誉教授 経営学博士 学校法人滋慶学園 総長 Ph.D. 元 公益財団法人核物質管理センター理事長 元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長 |

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

『欧州におけるSMRとサプライチェーン強靱化調査団』

参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行

| | | | |
|---|--|--------------------------------|----------|
| フリガナ | | | |
| 会社名・団体名 | | | |
| 所属名/役職名 | | | |
| フリガナ | | | |
| 参加者氏名 | 生年月日 | 西暦 | 年 月 日 |
| パスポート記載名 (ローマ字 姓名) | 英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載) | | |
| E-mail | 携帯電話番号 | | |
| 勤務先 | 〒 - 住所 | | |
| | 電話番号 | FAX番号 | |
| ご自宅 | 〒 - 住所 | | |
| | 電話番号 | | |
| フリガナ | | | |
| 担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方 | 印 | | |
| 所属名/役職名 | | | |
| 電話番号/E-mail | | | |
| 旅券 (パスポート) について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要) | | | |
| ① はい | 旅券番号： | 有効期限 | 西暦 年 月 日 |
| ② いいえ | 取得予定日 | 2024 年 月 日 | |
| 強いアレルギーなど ございますか | なし・あり () ありの場合、対象物、アレルギーの程度を具体的にお知らせください | | |
| 語学力 | 英語について 問題あり・なし、TOEFL点数など () | 英語以外に、お使いになれる言語がございますか？ () | |
| 通信欄 ご質問・ご希望等 | マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください (例 JAL 1234567、ANA 2345678 他) | | |

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス (以下「旅行サービス」といいます) を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1950

FAX : 03-6229-1940